

校内研究だより#8

今日的な課題に
適応PT

第5学年 おおたの未来づくり 「LEGOでプログラミング～校内FLL大会を開こう～」

《授業について》

1月21日水曜日、今年度最後となる8回目の校内研究授業を行いました。今回の校内研究は、第5学年がおおたの未来づくりで、「校内FLL大会～ロボット部門～に向けた中間発表を行い、これまでの成果を発表する活動を通して、授業パートナーからのフィードバックを基に課題を見いだし、改善の方針を定めることができる」ことをねらいとして授業を行いました。今回は、その様子をお伝えいたします。

①【展開Ⅰ】

展開Ⅰでは、班ごとにスライドの発表と実走をし、それについて他の班から助言をもらったり、授業パートナーから助言をいただいたりするという流れを5班分行いました。各班とも、本時までに練習した成果やうまくいかないところを共有することで、課題を見付けようと取り組みました。

授業パートナーからは、成功率はどれくらいか、失敗の原因を理解しているか、スタート位置を同じになるような工夫をしているか、挑戦するミッションを決める根拠は何かといった全ての班に関わる助言に加え、一回の動作ごとに動きを止めたり、タイヤの大きさやロボットの重さに関する具体的な助言を班ごとにいただきました。



②【展開Ⅱ】

展開Ⅱでは、中間発表を通して見付けた課題を基に、プログラムを見直したり、アタッチメントを改善したりしました。その際は、授業パートナーに対して、積極的に意見を聞きに行ったり、フィールドで試運転したりするなど、見付けた課題を解決しようとする様子がとてもよく見られました。

課題を解決できたときには、班のメンバーだけではなく、他の班からも賞賛の声が上がりました。



指導・講評

- ・FLL（ファーストレゴリーグ）には、参加するメンバーが目標をもち、それを達成することができるかが大切。必ずしも、高得点を取ることだけが目的ではない。
- ・レゴの作成やプログラミングを通して、プログラミング能力や創造力を身に付けるだけではなく、他者と協働し、互いに学び合うことのよさを理解できるようにすることもねらいである。

学びの足跡

第5学年 おおたの未来づくり
「LEGOでプログラミング～校内FLL大会を開こう～」

チームプレゼン
ロボットデザインや
プログラムをプレゼン



級友からの助言
班が作成したプログラミングと
ロボットの動きを根拠に、
どのように改善すればよいのかを伝える。



授業パートナーからの助言
プログラミングやロボットの動きに加え、
成功率はどのくらいか、
成功と失敗の原因を理解しているか
といった具体的な助言をいただく。

改善策を考える
級友や授業パートナーの助言を基に、
改善策を考え、実際に試す。

